

令和2年7月豪雨によって被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます さかき診療所は医療とみなさまの健康を守りながら災害復旧に取り組みます

コロナ禍の中、熊本県北部や福岡県南部に大きな被害をもたらした令和2年7月豪雨。初期段階の7月9日に長山区域へ訪問活動を行いました。

国道を入ると川沿いの竹林には、川の決壊の後の痛々しく残っていました。するとちょうどゴミ捨てに出てこられた友の会会員さんとばったり。「被害はなかったですか？」と声をかけると「家は大丈夫やったけど車がねー、つかったのよ」と嘆いていらっしゃいました。生活道路はアスファルトが剥がれ歩くのもままらない状態で、自治体に対応を求められていました。



この日は4件を訪問しました。コロナ禍の影響で体調を崩していないか、1軒1軒見回りながらアンケートを取りはじめ今回は2回目です。大雨被害と合わせて新型コロナウイルス感染症の影響がないか聞き取りをおこないました。



リニューアルビジョン事業計画決定しました！



事務棟がきれいさっぱりさら地になりました。夏まつりには絶好のスペースでしたが今年は新型コロナウイルス感染症対策のため残念ながら見送りになりそうです。今後事業計を具体化していくなかで、大小の変化をお伝えしていきます。診療棟やリハビリ棟では、新型コロナウイルス感染症対策で出入りもご不自由をおかけしていますがご了承ください。

プロジェクト会議や法人での会議でリニューアル答申案を煮詰めてきました。施設の見取り図もさまざまなセクションの方から意見をいただき修正を行いながら形になってきました。

事業計画では、南関町の実態として少子高齢化がますます進む中で、南関町で唯一個別送迎を行っている診療所として、必要な役割を果たすビジョンを明確にしています。

さあ、いよいよ具体化です。

スローガン

- 1、地域に根差した医療の提供（慢患、在宅、検診）
- 2、高齢者が安心して生活できる介護サービスの提供
- 3、誰でも気軽に寄っていただけるような診療所と、地域の健康を守る活動の実践

（さかき診療所 PJ事務局）